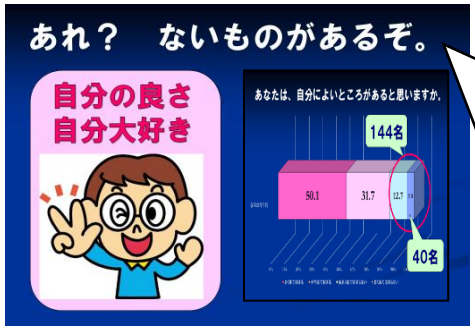
あめくっこだより
天久っ子便り
第 26 号
令和３年 10 月 19 日（火）
発行者：校長　宮里 寿子

令和3年度・2学期スタート！　～自分にはよいところがある～

４日間という短い秋休みあけ、令和３年度・２学期が昨日 18 日からスタートし、１校時には「始業式」が Zoom（オンライン）で行われました。学校長の講話として、「人の話を聞く、自分の得意・強みを見つける２学期にして、『自分を信頼する、自分にはよいところがある（自己肯定感）』と思ってね。」とお話ししました。以下、天久っ子に話した内容です。

2 学期は「人の話を聞く（うなずく、リアクション）、自分の得意・強みを見つける」

１学期終業式に、目標（めざす子ども像）に向かってがんばっているところを先生方にインタビューしたのを覚えていますか？　**その中で一番多かったコメントが「相手を尊重、リスペクトしている」**で、他にも、話の聞き方の姿勢や漢字テストなど諦めずに取り組む態度、発表へのチャレンジ、なわとびなど体を動かす、大きなケガもなく安全に過ごせたなど、あげられていましたね。（◎のところ）



でも、よく見て下さい（左上図）。先生方から「がんばったね」って言われてないのが一つあります。分かりますか？**「自分の良さが分かる」「自分大好き」については、コメントがありませんでした。**夏休み明けの校長先生のお話で、７月に行われた天久小児童アンケートで「自分によいところがある」と思わない子が 144 名、その中でも全く思わないと答えた子が 40 名もいたというお話、覚えてますか？

校長先生の大好きな鳴門教育大学の久我先生によると、**「自分への信頼（自分にはよいところがある）」が高いと、学習意欲や思いやりの心、粘り強さにつながり、「自分によいところがある」を高める方法としては「人の話を聞く」ことが大事で、姿勢だけでなく頷きながら聞くこと**だそうです。また、自分の考えと比べて違うけど納得したなら「なるほど～」、良い考えなら「いいね～」と**リアクションすると、お話ししている人は「聞いてくれてる」と嬉しくなり、自分に自信を持つそうですよ。**（本物のリアクションが大事。）

「自分によいところがある」を高める方法の２つ目は、自分の得意・強みを見つけること。言葉・数字・絵・体・自然・音楽の他に、チャレンジャー（自分）やリーダー（人）もあり、校長先生は「言葉」と「リーダー」が強みと思っています。だから、天久っ子便りを書くのが大好き。３月にはいくつ見つけたか聞きます。たくさん見つけて下さいね。

講話前に行われた、２学期始業式の児童代表あいさつが大変素晴らしかったです。もちろん前回の１学期終業式のあいさつも大変素晴らしく、「さすが、天久っ子！」と思いました。